

令和04年6月（第2回）岩倉市議会定例会

一般質問通告要旨

1 黒川 武 議員

1 文化財の保存と活用について

(1) 市指定文化財の保存と活用について問う。

- ① 市指定文化財の管理状況について問う。
- ② 市指定文化財の積極的な公開・活用について問う。
- ③ 岩倉市教育振興基本計画（改訂版）について問う。

(2) 市指定文化財の市外流出を防ぐための措置を講じてはどうか。

- ① なぜ指定文化財が市外に流出したのか。
- ② 市外流出を防ぐための措置を講じてはどうか。

(3) 下田南遺跡発掘調査における出土遺物等の保存と活用について問う。

- ① 下田南遺跡発掘調査の成果について、どのように総括しているのか。
- ② 出土遺物のうち、歴史的に価値のあるもの、市の文化財として指定すべきものはあるのか。
- ③ 出土遺物の保存や活用について、どのような方針であるのか。
- ④ 後世にどういう形で遺跡を残すのか。
- ⑤ 下田南遺跡発掘調査報告書の刊行を記念してイベント（展示会・講演会）を開催してはどうか。

2 薬物乱用防止対策について

(1) コロナ禍で急増する「大麻」について問う。

- ① 大麻に対する認識について問う。
- ② 市内において、20代以下の大麻事犯検挙人員はいるのか。
- ③ 国の第五次薬物乱用防止五か年戦略について問う。

(2) 市販薬の乱用について問う。

- ① 10代の若者を中心とする市販薬の乱用に対し、どのように認識しているのか。
- ② 近年、市販薬の過剰摂取で救急搬送されるケースはあるのか。
- ③ 市販薬の乱用防止に向けて、健康教育の一環として、学校教育に組み込んではどうか。
- ④ 医薬品販売制度に係る苦情・相談について問う。
- ⑤ 市販薬の販売や乱用防止に関する周知・啓発について問う。
- ⑥ 市販薬の乱用防止に向けて、どのような対策があるのか。

2 井上 真砂美 議員

1 公園の維持管理について

- (1) 市内の公園のうち、天王公園や長瀬公園の管理・維持方法はどのように行われているか。
 - ① 地元の管理に至った経緯はどのようなものか。
 - ② 天王公園や長瀬公園が町内で管理できているのは、なぜだと思われるか。
 - ③ 芝や草の処理はどのように行っているのか。トイレ掃除についてどのように行っているのか。
 - ④ 問題や苦情等はないのか。
 - ⑤ 金銭的な困りごとはないのか。
 - ⑥ 他の公園管理を地元の協力を得るにはどのような手続きが必要か。

2 公園を管理・維持する担当課について

- (1) 市内の公園の現状はいかがか。
 - ① 場所の種類と箇所数は。
 - ② 担当課は。
- (2) 目的によって管理する課に違いがあるだろうが、違う課にするメリットはどのようなものか。
- (3) 公園管理ということで一つの課で行うことのデメリットはどのようなか。

3 「アダプトプログラム」について

- (1) 市内の現状と実績はいかがか。
- (2) 加わるためには、どのような手続きが必要か。

4 「環境家計簿」について

- (1) 「環境家計簿」を利用している世帯の実績はどのようなものか。
- (2) 書き込み式でなく、それぞれを連動式にしてはいかがか。

5 「シビックプライド」マイレージポイント方式について

- (1) 地域や環境のために活動し努力したときに、ポイントを付けて、自身の努力を「見える化」するのはいかがか。

6 全国学力学習状況調査について

- (1) 今年度の実施の状況で、当日の欠席者とその後の対応はいかがか。
- (2) 昨年度の「質問紙」調査結果を踏まえて
 - ① 「自分にはよいところがある」の回答状況はいかがか。
 - ② 「将来の夢や目標をもっている」の回答状況はいかがか。
 - ③ 教育委員会の評価はどのようなか。

3 須藤 智子 議員

1 分譲マンションの「管理計画認定制度」について問う

- (1) 岩倉市内の築40年以上と築30年以上の分譲マンションの戸数は把握しているのか。
- (2) 分譲マンションの管理状態を自治体がチェックする「管理計画認定制度」の周知は行っているのか。
- (3) 岩倉市独自の「マンション管理適正化推進計画」を策定して「管理計画認定制度」を導入する見解はないのか。
- (4) 愛知県は、今年の4月に「愛知県マンション管理適正化推進計画」を策定して、国が示す「指針」と「認定基準」に愛知県独自の項目を追加しているが、どのような内容か。

2 太陽光パネルの廃棄物問題について問う

- (1) 再生エネルギーの主力である太陽光発電パネルの寿命は25年～30年と言われ、2040年には大量の太陽光パネルの廃棄物が出ることが予想され、懸念される課題についての岩倉市の見解は。

3 ペットとの共生について問う

- (1) 「ワンちゃんのトイレは散歩前に」という呼びかけをどのように受け止めるのか。
- (2) 今年の6月1日から始まる犬、猫への「マイクロチップ」装着についての岩倉市としての見解は。
- (3) ペットの忌引休暇についての岩倉市としての見解は。

4 鬼頭 博和 議員

1 プラスチックごみ一括回収について

- (1) 現在のプラスチック製品の回収と処理方法はどのようなか。
- (2) プラスチック製容器包装資源の排出量の推移はどのようなか。
- (3) プラスチック資源循環促進法の施行により、本市におけるプラスチック製品の一括回収、リサイクルについての検討状況は。
- (4) プラスチックごみ一括回収・リサイクル導入に向けて実証事業を行ってはどうか。

2 情報システムの標準化・共有化に向けた取組について

- (1) 国主導のガバメントクラウド上で基準に適合した情報システムを利用する形態に移行する過程において現在の本市の状況は。
- (2) 移行にかかる岩倉市の費用負担についてどの程度を想定しているか。
- (3) 情報システムの標準化・共有化導入について本市のメリット、デメリットは。
- (4) 情報システムで行われる20業務と、それ以外の業務との情報共有などのシステム問題はどのようなか。
- (5) 庁内における今後のデジタル人材の体制強化はどのようなか。

- (6) 愛知県との連携をどのように図っていくのか。
- (7) デジタル化について不慣れな方にとっても利便性が進むような取組を求む。

3 認知症施策の推進について

- (1) 認知症に対する地域支援はどのようなか。
- (2) 認知症の人と家族への一体的支援の推進はどのようなか。

4 市内屋内運動場施設へのエアコン設置について

- (1) 総合体育文化センター2階アリーナへのエアコン設置は検討されているのか。
- (2) 市内小中学校屋内運動場へのエアコン設置についてどのような検討がされているのか。

5 片岡 健一郎 議員

1 地方行政における組織の在り方について

- (1) 職員の行動の拠り所とする基本方針はどのようなものがあるか。
- (2) 岩倉市における職員への教育・意識付けはどのような考えで実施されているのか。
- (3) 岩倉市人材育成基本方針の見直しに伴い全職員に共通する基本指針をブラッシュアップする際にどのような考えで行うのか。
- (4) 行動の拠り所となる基本指針をどう活用していく考えか。
- (5) 様々な施策の改善はどのように検討され実施しているか。
- (6) PDCAサイクルのような年度ごとの改善に加え、問題があれば年度途中でもすぐに機動的見直しを行うOODA（ウーダ）ループについて見解を問う。
- (7) 職員のチャレンジ応援ということで庁内において政策提案を実施しているが、実績や効果、課題はどうか。
- (8) 新規事業専用の予算枠「政策トライアル枠予算」を各課につけて職員のチャレンジ意欲を応援してはどうかと考えるが市長の見解を問う。

2 行政のデジタル化推進について

- (1) 庁内における年間の紙の使用量、紙の購入費用、印刷費用および紙の廃棄量と処理費用はどのようなか。
- (2) 庁内におけるペーパーレス化の現状はどうか。
- (3) 岩倉市のペーパーレス化を推進する計画はあるか。
- (4) 議会におけるペーパーレス化は行政と議会が同時に行うべきだと考える。令和5年度の庁内のパソコン更新時に議会のペーパーレス化を検討してはどうかと考えるが当局の見解を問う。
- (5) 近年、行政区役員の担い手不足が問題となっているが、役員にはどのような事務的負担が存在しているのか。
- (6) 行政区においてもデジタル化の推進は必要と考える。他の自治体で実証実験が行われているデジタル町内会を行政区における負担軽減の観点から検討してはどうか。

6 木村 冬樹 議員

1 物価高騰から市民の暮らしを守ろう

- (1) 政府の「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」のうち「コロナ禍において物価高騰等に直面する生活困窮者等への支援」のメニューはどうか。
- (2) 庁内での事業の検討状況はどうか。
- (3) 広く市民に行き渡る施策の実施を求める。

2 ネーミングライツは必要なのか

- (1) ネーミングライツについてどのように考えているのか。
- (2) 導入に向けての具体的な検討状況はどうか。
- (3) 応募する企業は見込めるのか。

3 インボイス（適格請求書）制度は小規模事業者を倒産・廃業に追い込むものではないか

- (1) 市内に消費税免税事業者はどれくらいいるのか。
- (2) 制度の周知は進んでいるのか。
- (3) 国へ制度の中止または延期を求めるべきではないか。

4 「住まいは人権、住まいは福祉」という行政の姿勢を求める

- (1) 市営住宅廃止という方針について、その代替策の検討状況はどうか。
- (2) UR都市機構と連携協力に関する包括協定を締結している岩倉市は、岩倉団地の現状をどう見ているのか。
- (3) 国土交通省がUR賃貸住宅におけるセーフティネット登録住宅（専用住宅）の運用を開始したが、その活用を検討すべきではないか。

7 堀 巖 議員

1 マスクを外せない子どもたちのケアを求める

- (1) 子どもたちのマスク着用に関し、子どもたちの声、市民の声は届いていないのか。
- (2) 小中学校におけるマスク着用に関するいじめや差別などの状況はどのようなか。
- (3) 政府が5月20日に発表したマスク着用の基準について考える。
- (4) 改めて、コロナ感染症のマスクの予防効果のエビデンスを確認する。
- (5) マスク着用による身体や心への悪影響を周知すべきではないか。

2 岩倉市の農業・農地について考える

- (1) 農業や農地が地域の人々の生活に与える様々な恩恵について考える。

- (2) 日本の食料自給率について、国はどのように目標を掲げ、実際にはどのように推移してきたのか。
- (3) 岩倉市における農業就労支援策はどのようなか。
- (4) 業として成り立たせるためには、さらなる公的支援が必要ではないか。

3 火災を身近に体験し、震災時等における火災を考える

- (1) 初期消火の重要性について確認する。
- (2) 簡易消火栓の位置は、市民にどのように周知され、その使用方法の訓練はどのようなになっているのか。
- (3) 震災などによる広域的な火災が複数発生したときに、消火活動はどのようなになるのか。類焼を最低限に食い止める道路・農地・防火水槽以外の水の確保などの対策を講じておくことが必要ではないか。

8 関戸 郁文 議員

1 地方公共団体における広域での事務の共同処理の改革について問う

- (1) 本市における事務の共同処理の現況と課題はどのようなか。
- (2) 今後の事務の共同処理に関する本市の考え方はどのようなか。
- (3) 本市における消防の広域化の検討は進んでいるのか。
- (4) 水道事業はどうか。
- (5) 下水道事業はどうか。
- (6) 監査委員事務局はどうか。
- (7) その他共同設置することによって業務の合理化ができる部署はあるのか。

9 谷平 敬子 議員

1 災害時の水の確保と電源の確保について

- (1) 災害時の応急給水体制は、どのようなか。
- (2) 災害時、断水が発生した場合の避難所の水の確保は、どのようなか。
- (3) 災害時の電源確保についてはどのようなか。
- (4) 重度障がい者等の家庭への発電機、蓄電池購入の助成を求む。

2 エンディング（終活）サポートについて

- (1) エンディングノートの利用状況はどのようなか。
- (2) 「わたしのエンディングノート」に信仰する宗教欄を追加してはどうか。
- (3) 終活サポート事業を開始してはどうか。

3 高齢者への熱中症対策について

- (1) 高齢者のエアコン設置費用の補助を求む。

10 水野 忠三 議員

- 1 「岩倉市成年後見制度利用促進計画」(令和4年3月)及び関連事項について問う
 - (1) 「成年後見をとりまく現状と課題の整理」について問う。
 - (2) 「国の基本計画に照らした課題」について問う。
 - (3) 「権利擁護支援による地域共生社会実現の取組」及び「計画の推進体制」について問う。
 - (4) 認知症施策としての観点からは、愛知県の「あいちオレンジタウン構想」や「あいちオレンジタウン構想第2期アクションプラン」など、他の取組等も参考にすべきと考えるが、見解は。
 - (5) 「アウトリーチ」や「親なき後」などの課題に対する市民の不安や懸念を解消・緩和するため、本市においては今後さらにどのようなことができるか。

- 2 第2期「岩倉市中小企業・小規模企業活性化行動計画」(令和4年3月)及び関連事項について問う
 - (1) 「計画策定にあたって」及び「岩倉市の現状」について問う。
 - (2) 「基本方針とアクションプラン」について問う。
 - (3) 「アクションプランの実現に向けて」について問う。
 - (4) 今後の本市における「中小企業・小規模企業活性化」としての企業DX(デジタル・トランスフォーメーション)のあるべき姿は。

- 3 生活道路の交通安全対策について問う
 - (1) 本市における生活道路の交通安全に係る施策の現状はどのようになっているか。
 - (2) 従来の「ゾーン30」についてはどのように認識しているか。
 - (3) いわゆる「ゾーン30プラス」についてはどのように認識しているか。
 - (4) 本市内においても「ゾーン30プラス」を積極的に推進すべきと考えるが、見解は。

- 4 「誰一人取り残されないデジタル化」の推進について問う
 - (1) デジタル庁の取組及び直近の(本年3月定例会・一般質問後の)国の「デジタル田園都市国家構想」に向けての動向についてはどのように認識しているか。
 - (2) 自治体と住民の関わり方の変革に関連して、自治体のDX(デジタル・トランスフォーメーション)や公共DXの方向性についてはどのように認識しているか。
 - (3) 本市におけるリスクリングとデジタル人材育成、デジタル研修等に関して、解決すべき課題は。
 - (4) 市民生活と市内企業を守るサイバーセキュリティーやサイバー脅威対策に関して、本市で取り組めること及び支援できることは。
 - (5) 本市において「誰一人取り残されないデジタル化」を推進する際に、今後、国及び県に期待する施策等は。

- (6) デジタル化を「意識することなく」、年齢を問わず誰もが多様な幸せを追求できる「真のデジタル社会」の早期実現に向けて、今後の本市の取組は。

11 梅村 均 議員

1 環境にやさしいうるおいあふれるまちに向けて

- (1) 緑化重点ゾーンである岩倉駅～五条川周辺ゾーンについて、都市計画道路桜通線街路の緑化計画は。
- (2) 八剱憩いの広場前ベンチの屋根は緑化しないのか。
- (3) 市内各所において河川や用排水路を利用してせせらぎを作ることはいできないか。
(場所によっては、蓋をするよりもオープンなせせらぎという選択肢も)
- (4) 天神公園や下り松公園などせせらぎ（水路）があるが、管理運営状況は。（日常的に水は流さないのか）
- (5) 彦太橋北側左岸の親水階段は活かされているか。また、現状ある自然環境の姿は目指したものか。（やや草が多すぎないか）

2 積極的な少子化対策を

- (1) 岩倉市の出生率の現状と傾向は。
- (2) いわくら「であい・つながり」サポート事業の評価と今後の結婚・出産支援の考えは。
- (3) 地域少子化対策重点交付金の活用はできないか。
- (4) 独身若者社会人の一人暮らしを誘発するために家賃（初期費用）等の補助を行ってはどうか。

3 歴史的資源を活用した観光まちづくりを

- (1) 桜並木のある五条川を活用し、栈敷などの有料スペースを設置して本市への観光に活かせないか。

12 大野 慎治 議員

1 公共施設のLED化について問う

- (1) 環境基本計画における公共施設のLED化の促進について、どのように記載するのか。
- (2) 公共施設のLED化をリース方式で計画的に導入するべきではないか。

2 学校給食について問う

- (1) ウクライナ危機及び円安などで高騰する食材費や燃料費による学校給食への影響は。
- (2) 新型コロナウイルス禍で保護者への負担増を回避するために給食費の補助制度を導入するべきではないか。

- 3 災害時における行政区・自主防災会との連携・協働促進に向けて問う
 - (1) 「防災士」資格の取得費用の助成制度を創設するべきではないか。
 - (2) 「応急危険度判定士」資格の取得費用への助成制度を創設するべきではないか。

- 4 中学校の制服の見直しと自由選択制の導入について問う
 - (1) 児童・生徒・保護者の意向調査は実施したのか。
 - (2) 制服の自由選択制の導入に向けての方針、方向性は。
 - (3) 教育長の見解は。
 - (4) 市長の見解は。

- 5 保育園の紙おむつの持ち帰り・処分について問う
 - (1) 愛知県内の公立保育園でのおむつの持ち帰り、園での処分の状況について問う。
 - (2) 保育園において、使用済み紙おむつを処分するべきではないか。
 - (3) 「おむつのサブスク」や「定額制のおむつ使い放題サービス」について導入する考えはあるか。

13 宮川 隆 議員

- 1 市の文化財に対する姿勢を問う
 - (1) 岩倉市における文化財の定義とは。
 - (2) 現時点で把握している市内の国・県・市・法人・個人が所有する建物や石碑などの文化財の件数は、どれほどあるのか。
 - (3) 維持管理における財政面などの相談に対する対応方法はどのようになっているのか。
 - (4) 直接・間接的な財政支援の制度は整っているのか。
 - (5) クラウドファンディング等を視野に入れて取り組む際に発信力・プレゼン能力が必須と考える。支援体制は整っているのか。

- 2 コロナ禍での免疫力向上への取組は
 - (1) 2年余りのコロナ禍にあって免疫力の低下が懸念されるようになってきたが、どのような発信がなされているのか。
 - (2) 一例ではあるが乳幼児期に感染しておかなければ、その子どもに高確率で障がいが発症する「サイトメガロウイルス」について免疫学会の医師が取り上げていたが、このような様々な課題について具体的に、国や県からの指針等は示されているのか。
 - (3) いまだ手探り状態であることは理解した上で、学校等現場での取組や保健センターからの情報発信等、市民・住民に不要な不安を与えない範囲内で正しい情報発信を行っていくことが肝要と思うがどうか。

14 梶谷 規子 議員

- 1 生理用品を公共施設、学校のトイレに常備を
 - (1) 「必要な人に無償配布」をしていた施設ができなくなったのはなぜか。
 - (2) 継続すべきではないか。
 - (3) 財源を見直し予算化すべき。
 - (4) トイレトペーパーのように、当たり前、常備する工夫を。

- 2 子どもの尊厳と子どもの権利を大切にする教育を
 - (1) 少人数学級を。
 - (2) 校則の見直しを。

- 3 気候危機打開を、対策としてエネルギーの地産地消を
 - (1) 市内の地球温暖化対策の現状をどうみているか。
 - (2) 太陽光発電システム設置の補助を。
 - ① 設置の補助の継続拡大を。
 - ② 設置後のメンテナンス費用への補助を。
 - ③ 遊休農地などに太陽光パネル設置補助を。
 - (3) 他の自治体とも連携して公共施設で使用する電力を100%再生可能エネルギーに。